

公の施設目標管理シート（直営）

問合せ先

| | |
|---------|--|
| 年度 | 令和2年度 |
| 施設名 | 新潟市北区郷土博物館(分館 横井の丘ふるさと資料館を含む) 所管部・課 北区地域総務課 |
| 施設の設置目的 | 市民の教育、芸術及び文化の向上を図るため、博物館法第2条第1項に規定する博物館として、新潟市北区郷土博物館を新潟市北区嘉山3452番地に設置する。 また、分館として、新潟市北区横井257番地に横井の丘ふるさと資料館を置く。 |

| | | | |
|----------|-------------------|-----|--------|
| 当初予算(千円) | 当初人員(人) | 作成日 | R2.4.1 |
| 歳入 | 251 正職員 3 | 修正日 | |
| 歳出 | 13,211 会計年度任用職員 2 | 評価日 | |

| No. | 視点 | 目標 | 評価指標 | | | | | 参考・補足 | 主な事業等 | 目標達成状況 未達成理由 | 評価 |
|-----|----|--------------|--------------------------------------|---|--|--|--|--|--|-----------------|----|
| | | | 項目 | H29実績 | H30実績 | R1実績 | R2目標 | | | | |
| 1 | 市民 | 入館者の増加 | 企画展等を実施して入館者数 年間7,800人以上 (単位:人) | 10,019 (入館者: 8,610人、 館外事業参加者: 1,409人) | 9,141 (入館者: 8,265人、 館外事業参加者: 876人) | 9,068 (入館者: 8,895人、 館外事業参加者: 173人) | 7,800 (入館者: 7,600人、 館外事業参加者: 200人) | ・常設展拡大企画展の開催 ・ふるさと学習の利用拡大 ・美術企画展の開催 ・恒例の「博物館まつり」においては、2019年度は郷土芸能発表会を2日間行ったことや、新しい試みとして高校書道部によるパフォーマンスを催した事などにより、2018年度の2.5倍(1,020人)の来館者がありました。しかし、今年度は祝日の並びから、1日だけの開催となるため、来館者数は4割程度の減少が予想されます。また新型コロナウイルス感染症の影響で、上半期の入館者数の20%減少を想定し、7,800人とします。 | ・常設展「阿賀北の大地と人々のくらし」をテーマに教室等を開催 ・郷土芸能伝承支援事業の総括として「北区の神楽と獅子舞のここに注目展」の開催 ・常設展拡大企画「昭和のくらし5」等の開催 ・ふるさと学習の利用拡大 ・(小中学生公募)「松蔭賞書道展」等の開催 ・美術企画展「美術にみる 型とシンボル展」の開催 | | |
| 2 | 財務 | 歳入の増加 | 刊行物の販売収入年間 112,000円以上 (単位:円) | 139,400 | 161,700 | 141,300 | 112,000 | ・『常設展示案内』の活用と販売(今年度は、展覧会図録など、新規の有償刊行物の作成が予定されていないことに加え、新型コロナウイルス感染症の影響で、遠方からの来館者の減少が予測されますので、通常の80%を目指します。) | ・常設展示「学習ノート」の販売 ・常設展示ガイドブックの販売 ・ガイドブック「北区のお宝ものがたり」 ・そのほか企画展図録などの販売 | | |
| 3 | 業務 | 市民との協働(講座回数) | ボランティアガイド養成講座 開催を年間4回以上 (単位:回) | 4 | 4 | 4 | 4 | ・スキルアップ講座及び他館ボランティアとの交流会の開催 4回 ・市民ガイドによる常設展示等の解説により、「北区の歴史と文化」をわかりやすく案内できる博物館づくりを促進します。 | ・市民ガイドのスキルアップ及び活動の拡充 | | |
| 4 | 人材 | 人材育成 | 職員の職場内外の研修会 参加延べ6回以上 (単位:回) | 3 | 12 | 10 | 6 | H29年度までは、職場内の研修会の実施回数で目標設定しましたが、H30年度以降は、職場の外の研修への参加を含めて目標を設定しています。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、講演会や講習会が中止されたこともあり、職場内研修4回、館外研修2回を目指します。 | ・常設展拡大企画について、職員全員の共通理解を深めるための職場内研修 ・歴史、民俗、美術等専門分野の研鑽 ・その他博物館業務に有効な研修会への参加 | | |

| | |
|--|--------------------------|
| 取り組みについて(目標設定の考え方など) | 総合評価 (評価を踏まえた課題分析・方向性など) |
| <ul style="list-style-type: none"> ・常設展「阿賀北の大地と人々のくらし」や常設展拡大企画の充実により、多くの市民が地域の歴史や文化を知ることができるように、北区の魅力を発見できる博物館づくりを目指します。 ・小学校等の「ふるさと学習」の利用拡大を図るなど教育普及に取り組みます。 ・市民ガイドとの協働によるわかりやすい解説に努め、市民が気軽に利用できる博物館づくりを目指します。 ・各種団体・関係機関との連携を図り、様々な機会に利用できる博物館づくりを目指します。 ・農民運動として全国的に有名な有名木崎村小作争議は、令和4年度に100周年を迎えます。100周年には企画展などを予定しています。これに向け、今年度は、地主に関する資料の所在調査や指定文化財の修復にとりかかります。 | |